



2019年MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ 第3戦 中国大会 公式通知 No.2 (IA/IB/LMX)

開催日 2019年6月1日(土)～2日(日)
会場 世羅グリーンパーク弘楽園 <http://sera-korakuen.com/>
〒722-1732 広島県世羅郡世羅町黒淵 728 TEL:0847-27-1755
主催 MFJ加盟団体 中国モーターサイクルスポーツ協会

本大会に出場する全クラスのライダー及び登録ピットクルーは2019年度MFJライセンス(有効期限2019年4月1日～2020年3月31日)が必要です。エントリーをされた方でも2019年度MFJライセンスに登録されていない方は、本大会への出場を拒否します。

1. タイムスケジュール 別紙、公式通知No.1をご確認下さい。
2. 大会実行組織 公式プログラムに公示します。
3. エントリー時の提出 エントリー用紙裏面の出場申込者の誓約書欄に署名・押印が必要です。未成年者は保護者も必ず署名が必要です。
4. ライダー・ピットクルーの受付及び車検

※下記時間内に大会本部受付窓口および車検場において、ライダー・ピットクルーの受付及び車検を行います。

1) スケジュール(予定)

【パドック開場時間/閉門時間】 ※パドック入場に関しては係員の指示に必ず従って下さい。

5月31日(金) メインゲート(第1ゲート) … 14:00～24:00 フリー

★メインゲートは、14時前でも入場可能ですが、500円の入園料が必要となります！

◆メインゲートバー前での14時までの待機はご遠慮下さい。業務通行の妨げになります。

フリーパドックゲート(第2ゲート) … 14:00～24:00 フリー

★パドックゲートは、(フリースペースでの場所取りの都合上) 14:00以前の入場は一切できません！

6月 1日(土) 第1&第2ゲート共通 … 5:30～24:00

6月 2日(日) 第1&第2ゲート共通 … 5:30～

【選手・ピットクルーの受付&車検時間】

5月31日(金) 16:00～17:00 … 年間エントリー者のみ (IA1/2、IB、LMX) <選手&ピットクルー受付>

6月 1日(土) 7:00～ 7:40 … レディース、ジュニアクロス <選手・ピットクルー受付&車検>

” 7:45～ 8:40 … 国際B級クラス (IBopen) <選手・ピットクルー受付&車検>

” 8:45～ 9:30 … 国際A級クラス (IA1/2) <選手・ピットクルー受付&車検>

※必ず、選手受付を先に済ませてから車両仕様書・MFJ公認車両・MFJ公認ヘルメットを持って車検を受けて下さい。

2) MFJ公認ヘルメットは、車検へご持参頂き、必ずチェックを受けて下さい。

- ① ヘルメットはMFJ公認マークの貼付されたモトクロス用ヘルメットに限られます。
- ② 車検にて、車両検査とあわせてヘルメット検査も実施致しますので、あらかじめ各自ご準備下さい。
- ③ 競技会に使用するヘルメットはMFJが公認する製品でなければなりません。公認ヘルメットにはMFJ公認マークが貼付されています。
※近年、並行輸入やネット通販等流通の変化により、正規輸入代理店を経ない製品が一部流通しておりますが、公認を受けた正規製品とは仕様が異なる場合や万が一コピー商品である場合も想定される為、MFJ公認マークが貼付されていない製品をMFJ公認競技会に使用することは禁止します。
※万一、公認マークが貼られていたにも関わらずマークが剥がれてしまった場合に対応すべく、これまでは競技会の車検において、公認製品であることの確認の後、特別検査料を徴収した上で、現地でマークを貼っておりましたが、正規製品との判別が困難である為、本年より製造メーカーまたは正規輸入代理店に対し、お客様から直接ご連絡頂いた上で公認マーク貼付のご対応を頂くこととなりましたので、くれぐれもご注意下さい
- ④ ウェアラブルカメラの使用禁止について
本大会の公式練習・予選・決勝に出場する選手が、ヘルメット・ゴーグルならびに装備品(身体)ウェアラブルカメラを装着することを禁止します。身体以外への装着は、当該競技会の競技監督に認められた場合のみ認められますが、如何なる場合でも、取り外しを指示された場合、速やかに従わなければなりません。

3) ライダーズブリーフィング 下記時間に表彰台横付近にて行います。【出場選手ならびに登録されたピットクルーは、必ず出席して下さい】

6月 1日(土) 【7:50～: レディースクラス/ジュニアクロス (85cc)】 【8:50～: IBオープンクラス】 【9:50～: IA1/2クラス】

※ライダーブリーフィングに続けて、モトクロスレースアドバイザーより、走行前講習が行われます。

4) 提出書類

選手受付時に、有効なMFJライセンス・参加受理書・車両仕様書・健康保険証(コピー可)を提示し、出場資格の確認を受けて下さい。

本大会は2019年度ライセンスが必要です。

※車両仕様書は全員に予備が1枚含まれています。提出は車両1台につき1枚で結構です。

(注)IAの選手でスペアマシン(Tカー)に登録している場合はスペアマシン分も必要となります。

また、IA、IB、レディースクラスの出場者は賞金振込指示書をご提出下さい。

※WEBエントリーでお申込みの方は、参加受理書と同封の「出場承諾書」に署名捺印を行ってご提出ください。

5) IAスペアマシンの登録手続きについて

- ✧ IA1、IA2は、スペアマシン(Tカー)の登録が認められます。(IB、レディース、併催クラスは1名に対し1台の車両しか使用できません)
- ✧ スペアマシン(Tカー)の台数に制限はありませんが、エントリー時にエントリー用紙にあるスペアマシン(Tカー)の項に必要事項を記入し、認められた車両のみとし、エントリー終了以降、スペアマシン(Tカー)を追加することはできません。
- ✧ 公式予選および決勝レースで、登録・車検合格済のスペアマシン(Tカー)を使用する場合は、「登録車両変更届」に必要事項を記入の上、大会本部へ提出し、競技監督に認められなければなりません。(公式練習中は、スペアマシンを含め自由に使用することができます)

※補足：公式練習で登録されたスベアマシン（Tカー）を使用する場合は、申請の必要はありません。登録されたスベアマシンは、ピットサインエリアに持ち込むことができます。大会本部事務局ならびに競技監督は、予選または決勝レースにおいて、「登録車両変更届」を受理した場合、レース開始前までに計時・進行・車検へ速やかに連絡をしなければなりません。

- ◇ 予選レースは、「レース開始予定時刻の10分前まで」変更することが認められます。 <規則追加>

※補足：予選レースで登録車両を変更する場合、サイティングラップが実施されない為、開始予定時刻の10分前までの受付とします。

- ◇ 決勝レースは、「ヒートⅠ・ヒートⅡそれぞれのサイティングラップ開始前まで」変更することが認められます。 <統一解釈>

※補足：「決勝レース」の表現は、ヒートⅠ・ヒートⅡそれぞれの決勝レースと解釈します。

- ◇ 決勝レースが赤旗で中断された場合のスベアマシン（Tカー）との交換は、認めません。 <規則追加>

※補足：再スタート時にサイティングラップがやり直された場合でも、スタートしている状況と判断する。

5. 表彰・賞金・正賞

1) 賞金の支払いについて

- ◇ IA、IB、レディースクラスの出場者は選手受付時、受理書に同封された賞金振込用指定用紙をご提出下さい。
- ◇ 個人番号（マイナンバー）の運用開始に伴い、法人として〔報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書作成事務〕の際【賞金の支払先（個人）の氏名】の個人番号を届け出が必要です。

※マイナンバーの届出が必要な方

→ 本大会で入賞し、**5万円を超える賞金を受け取られる方**。但し賞金の振込先が個人ではなく、登記された法人の場合はマイナンバーの提供は必要ありません。本大会で上記に該当する方に後日申請書を送付、個別対応頂きます。予めご承知おください。

2) 賞金と正賞【賞金：IA・IB・レディース（1ヒートあたり）※賞金スケールは下記の通り】【正賞：IBOPEN/レディースクラスの1位～6位に正賞を贈呈します】

クラス/順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
IA1 個人支払金額 (源泉額)	¥ 100,000 89,790 (10,210)	¥ 80,000 71,832 (8,168)	¥ 60,000 53,874 (6,126)	¥ 50,000 44,895 (5,105)	¥ 40,000 35,916 (4,084)	¥ 30,000 26,937 (3,063)
IA2 個人支払金額 (源泉額)	¥ 60,000 53,874 (6,126)	¥ 40,000 35,916 (4,084)	¥ 30,000 26,937 (3,063)	¥ 20,000 17,958 (2,042)	¥ 15,000 13,469 (1,531)	¥ 10,000 8,979 (1,021)
IBOPEN/レディース 個人支払金額 (源泉額)	¥ 30,000 26,937 (3,063)	¥ 20,000 17,958 (2,042)	¥ 10,000 8,979 (1,021)	¥ 5,000 4,490 (510)	¥ 5,000 4,490 (510)	¥ 5,000 4,490 (510)

※本大会はMFJより賞金等の補助を受けて開催されています。 ※上記賞金は税込金額です。 ※スターティングマネーは支給されません。

※振込手数料は主催者の負担となります。

※賞金は、選手の指定する個人口座へ振り込みする場合は源泉徴収額（法規に基づき税率 10.21%※2018 年 3 月現在）を差し引いた額を支払います。

※法人名義の口座へ支払う場合は、源泉徴収は致しません。

※正賞（IBOPEN/レディース）の引き取りは正式結果発表後、MFJライセンスを持参の上、大会本部までお越し下さい。

6. トランスポンダー

1) 受付/返却

- トランスポンダーは、大会本部横「トランスポンダー受付」にてお渡ししております。
- IA / IB / レディースクラスの出場者で、年間を通して借りる方は、受付にて「年間貸出」と申告して頂き各自保管して下さい。
また最終戦終了後、速やかにMFJ本部、またはビレックスへご返却下さい。**紛失または未返却の場合は後日10,000円を請求させていただきます。**
- 1大会（本大会）のみ借りる方は、「1大会のみ」と申告して頂き、レース終了後、早急に大会本部返却カウンターにご返却願います。
紛失または未返却の場合は後日10,000円を請求させていただきます。
- IAクラスでスベアマシン（Tカー）を申請した場合、別々のタグ（マシン1台につき1個のタグ）を使用しますので選手受付で必要個数申請して下さい。
- タグが破損した場合は、破損したタグを全日本MX大会の受付時にご提出頂き、交換手続きを行って下さい。

2) 取付

- 取り付け位置は、車体進行方向の左側です。（トップブリッジ・アンダーブラケットの中間フォーク部分）
- 取り付け作業は、ライダー自身またはピットクルーが行って下さい。（車検スタッフは取り付けしません）
- 取り付けに必要なタイラップ、ガムテープ等の資材は、ライダー各自で準備して下さい。（タイラップは4本100円で大会本部にて販売しています）
- 走行前には毎回必ずトランスポンダーのチェックをします（公式練習走行時より必ず装着すること）。スターティングエリア入り口にて動作と取り付け状態の確認を行いますのでエンジンを停止させ、押しながら1台ずつゆくりと通過し、必ず担当者の指示に従って下さい。

全クラスに対し、本大会または2019年シーズの年間にて登録されたトランスポンダータグのみ使用可能です。昨年以前のトランスポンダータグや本大会に登録された以外の機器は、計測ができませんので、充分ご注意ください。

7. 公式車検／音量測定／車両保管

- ① IA1、IA2の選手受付時に抽選を行い、音量測定対象者を選定する。（IA1：最大5名、IA2：最大5名）

音量測定対象者は、公式練習走行前の指定された時間内に事前音量測定を受けなければなりません。これにより予選終了後の音量測定は実施しません。

→ 本年度全日本MXシリーズの公式音量測定を受け、合格したマーキングの無いサイレンサーを使用する場合は、抽選対象でなくとも音量測定を受けなく

ればなりません。(初めて出場する者、初めて使うサイレンサー、審査委員会から指名された者)

6月 1日(土) **AM8:45～AM9:45**に事前音量測定が行われ、合格した車両のサイレンサーにペイントが付けられます(スベアサイレンサーも同様)。

※事前音量測定を受ける前に、必ず選手受付を済ませて下さい。

- ② IB・レディースクラスの音量測定は、6月 1日(土) 予選終了後、予選通過者(リザーブ含)に対し実施します。予選出走時にスタート前チェックで全車のサイレンサーにマーキングを付け、予選終了後、そのペイントが付けられたサイレンサーで音量を測定します。合格したサイレンサーには合格を示すペイントが付けられ、決勝に使用可能と判断します。スベアサイレンサーは、この時点で測定を受け、合格だった場合は、決勝で使用可能となるペイントをスベアサイレンサーに付けます。※ペイントのついていないサイレンサーは決勝で使用できません。

- ③ IA1、IA2、IBOPEN、レディースクラス決勝レース終了後、各クラス・各ヒート1位～6位の車両に対して音量測定を実施します。

※音量測定は、持ち込まれた状態で行いますので、**暖気などは各自で行ってから**車検場にお越し下さい。

- ④ 競技中にサイレンサーが破損し競技役員の指示により交換した場合は、ピットエリアでサイレンサーを交換してコースインして下さい。

レース中に交換した場合はレース終了後パドックに戻らず(車検に申告せずにパドックへ戻った場合は失格となる)、予選時に使用したマーキング済み(破損)サイレンサーと交換後のサイレンサーを両方用意し、車検にて故障・破損による交換であることの確認を受けて下さい。

- ⑤ 車両保管時間は、暫定結果発表時間後、20分となります。(引き取りの際、ライセンス等の身分証明を持参下さい)。車両保管解除発表と同時に保管車両を速やかに引き取ってください。車両保管解除後、車両の責任は一切負いません。

- ⑥ 音量測定は、**全車2mMAX方式による測定**が行われます。

＜音量規制値＞IA1、IA2、IBOPEN、LMX : 最大で114dB/A。また、レース後の許容誤差は+1 dB/Aとします。

(2019国内競技規則274ページ5-3-6-3、5-3-6-4) ※その他、測定場所による誤差があった場合、公式通知にてお知らせします。

- ⑦ IBOPEN、レディースクラスの選手は、予選出走前の指定された時間に、任意の音量測定を受けることができます。(但し、合格してもマーキングはされない)

IA1、IA2のライダーは、指定された事前音量測定時間以外の時間に音量測定を実施しない。(但し、車検長の特別な許可があった場合は実施できる)

8. 公式練習

危険回避の為、全てのクラスにて公式練習の1周目は黄旗が静止で提示されます。ジャンプは飛ばずに徐行で走行しなければなりません。

- ① 公式練習の開始 **2分間**を、スタート練習と致します。
② 公式練習時間(土日とも) ... IA1/IA2: 20分間、IBOPEN/レディースクラス: 各15分間
③ どのクラスも、公式練習1周目は各ポストで黄旗が提示され、徐行(すぐに止まれる速度)ならびにジャンプはナメて走行しなければなりません。
※国際A級以外のクラスは、マーシャルが先導する。マーシャルを追い抜いたり、煽ったりする行為は禁止します。

9. 公式予選 (2019国内競技規則254ページ10-1公式予選に則る)

- 1) 国際A級・国際B級・レディースクラスともに予選組は、受付終了時点にて、前大会までの暫定ポイントランキング順、ポイント未獲得者はその後にゼッケンの若い番号順(ルーキーゼッケンは最後)により振り分けします。予選スターティンググリッドの選択優先もこれに準じます。
- 2) 本大会の予選グリッド数は30台とします。
- 3) 予選組数: IA1: 1組(決勝グリッド決め予選)/IA2: 2組/レディース: 2組/IBOPEN: 3組
- ① 選手受付終了時点の出走台数で、予選組数を変更する場合があります。(公式通知・ブリーフィング・放送で公示)
- (例) 35台エントリーの為、予選2組だったが、選手受付で30台だった場合、予選組数を2組から1組へ変更する。**
- ② 予選組数変更の場合、大会本部より放送にてお知らせすると共に、組分け表を公式掲示板に発表します。
- ③ **予選組分け表は、6月 1日(土) 受付終了後、およそ1時間以内に公式掲示板に発表します**
- 4) 予選レース周回数: 【国際A級】IA1/IA2 各組 10分+1周 【国際B級】IBOPEN: 各組 10分+1周 【レディース】各組 3周

10. 決勝進出者

クラス	予選組	予選通過台数(予定)	リザーブ	決勝進出台数 (リザーブ・シード除く)	決勝レース
レディース	A・B 2組	各組の上位 15 名 (計 30 名)	各組 16 位 (計 2 名)	最大 30 台	15 分 + 1 周
IB オープン	A・B・C 3組	予選各組の周回数の多いトップタイムの早い組を優先とし、各組より上位 10 名×3 組を選出(計 30 名)。	予選各組の周回数の多いトップタイムの早い組を優先とし、第 1 優先組の 11 位と第 2 優先組の 11 位を 2 名選出。		20 分 + 1 周
IA2	A・B	各組の上位 15 名 (計 30 名)	各組 16 位 (計 2 名)		30 分 + 1 周
IA1	1 組	グリッド決めヒートレース	なし		

- 1) 上記の予選通過者選出方法は、完走者が優先されます。(2019国内競技規則259ページ19決勝レース出場資格)
原則として、IAシード対象者と完走者(トップの周回数の75%以上を走行した者)だけが、決勝進出およびリザーブライダーになる権利があります。
- 2) リザーブライダーは決勝出走ライダーがグリッドにつきサイティンググラフ開始の合図を最初のライダーが受けた時点でグリッドが空いてなければ、出場権利は失われるものと判断します。
- 3) 予選通過者(決勝進出者)は予選終了時に随時大会本部掲示板に発表します。
国際A級クラス(IA1、IA2)のみ2019国内競技規則259ページ19-1に基づきシード制度が適用されます。
シードリストは大会当日に発表します。国際A級クラスのシード対象人数は、前大会までの暫定ランキング IA1、IA2各1位～5位です。

11. 決勝スタート位置の決定方法

スターティンググリッドの優先順位は予選結果に基づき決定されます。

12. 練習

大会1週間前の5月29日(水)以降はコース造成のため、当会場での練習走行はできません。

5月29日（水）以前の走行は世羅グリーンパーク弘楽園（☎0847-27-1755）へお問い合わせ下さい。

13. 選手・関係者表示

スターティングエリア、ピット・サインエリア、その他主催者が定めた区域は競技役員以外、以下の通り制限されます。

- 1) 一人のライダーにつき最大2名までのPITクルー（有効なライセンス登録者）をエントリー時に登録することができます。
 - 2) 登録されたピットクルーはリストバンドを必ず腕に装着の上、2019年度MFJピットクルーライセンスをバスケース（各自が用意）に入れて常時、左腰前部に装着して下さい。※リストバンドの貸し借り等の不正は絶対にお止め下さい。（発見した場合、登録ライダーに罰則が科せられる場合があります）
- 【ピットクルー用リストバンド： 緑色 ライダー用リストバンド： オレンジ色（橙）】**
- 3) スターティングエリア内に立ち入ることができるピットクルーは、「当該クラスに出場しているライダーに登録されたピットクルーのみ（1ライダーにつき1名まで）」とします。また、プレス・レーシングサービス（PITライセンス所持者のみ）・レース関係者（競技監督に認められた者）は立入が許可されます。ただし、レース関係者は、傘をさす以外の行為は禁止されます。無線機を使用して外部と通信する行為（携帯電話で外部と通信する行為も含む）、マシンに触れる行為、ライダーの用具を持つ行為なども禁止されますので、ご注意ください。
 - 4) 公式練習中に限り、ピットサインエリアにおけるレーシングサービス（ピットクルーライセンス所持者のみ）によるライダーのマシンへの作業は認めます。
 - 5) 公式練習中に、ピットクルーは原則コース内に入ることは禁止され、指定したエリアのみ立入が許可されます。
 - 6) 本大会ピットクルーとして登録されているライダー以外のライダーへのサポート行為は禁止します。※但し、サインボードの提示は除外。
 - 7) 全日本モトクロス選手権シリーズにおける“エントリー”とは、ライダー・当該ライダーに登録されたピットクルー・当該ライダーのエントリー用紙に記載されているチーム代表者のいずれかである。
 - 8) 開催期間中のライダーによるコース内での下見については、2019国内競技規則書258頁「17 コースの下見」を厳守して下さい。

14. 会場の入退場チェック

- 選手・チーム関係者・観客を問わず、ゲートを通過する際に、パスチェックを行います。有効なパスを提示できない場合は、入場料金を徴収します。
 - ご入場の際は、ゲートにて必ず係員に「車両許可証」および「入場券 or パス or リストバンド」を提示して入場してください。
 - 「車両許可証」には事前に車両ナンバープレートと同じ番号を必ず記入し、ダッシュボード右側（右ハンドル運転席側）に提示する事。選手・チーム関係者・観客を問わず、ゲートを通過する際に、パスチェックを行います。
 - 車両の場合は車両通行証をダッシュボードの右側に提示。パスは人数分必要になります。
 - 有効な車両通行証またはパスを提示できない場合は、入場料金（車両通行代金）を徴収致します。
- ※上記を厳守せずゲートに来られた場合、入場がストップし渋滞が発生する等で他のエントリーに大変迷惑が掛かりますので厳守して下さい。
また、場内外での事故等のトラブルには一切関知いたしませんので、十分にご注意ください。

15. ピットサインエリア …… 本大会のピットサインエリアは2か所とします。

場所：①スタート後のピットサインエリア、②最終コーナーからの立ち上がり左側のサインエリア

- 1) 本大会ピットクルーとして登録されているライダー以外のライダーへのサポートは禁止します。※但し、サインボードの提示は除外。
- 2) ピットクルーがサインボードを提示する際、走行中のライダーに接触しないよう充分注意すること！（コースに出張り過ぎない！速やかにボードをしまいサインを出す時間を最小限にする！）
- 3) ピットサインエリアは、一方通行となります。出口からピットエリアへの進入、ピットエリア入口からの退出（コースイン）、ピットサインエリア内での逆走などは、すべて危険走行とみなし、ペナルティの対象となりますので、充分ご注意ください。
- 4) ピットサインエリア内は徐行走行でなければなりません。徐行より速い速度で走行したとオフィシャルに判断された選手は、危険走行とみなし、ペナルティの対象となりますので、充分ご注意ください。

16. レース進行について（2019国内競技規則 260ページ～ 20スタート）

- 1) スタートの手順は、「2019年全日本モトクロス選手権大会特別規則（2019国内競技規則260～262ページ20-2、20-3）に基づき進行されます。
 - ① レース開始時刻の10分前までにウェイトングエリアへ集合する
 - ② レース開始時刻10分前または当該レースへの出場者が全員揃った時点（タイスケ上の開始時刻より早まる場合もある）で進行役員が移動を指示する
 - ③ 進行役員にスタートエリアへの移動を指示された最初の選手が動いた時点から、ウェイトングエリアに遅れて到着した選手は、最後尾のグリッド選択順となる
 - ④ 最後尾の選手がスターティングエリアへの移動を開始した時点で、プレレースエリアのゲートを閉鎖する（※これ以降に到着した選手は出走できない）
 - ⑤ プレレースエリアゲートが封鎖された後からサイティングラップ（決勝のみ）が開始されるまでの間にグリッドに空きがあれば、リザーブ選手の出場が認められる。
 - ⑥ タイムスケジュールに遅れが生じる場合もあるため、レース開始時刻は、放送や公式通知において、各自必ず確認すること。
- 2) 予選・決勝の公式練習時のスタート練習時間は、公式練習開始時点から、**2分間** とします。（但し、IA1予選時のスタート練習は行いません）
- 3) 本大会のサイティングラップ所要時間は、最終ライダーがサイティングラップを開始してから、**4分間** とします。（天候の状況により、時間を変更する場合があります）
- 4) 決勝レースに限り、前クラスのスタート後から当該クラスのスタート時間10分前（集合時間）までの、競技役員に許可された時間内であれば、当該クラス出場ライダー（リザーブ含む）のみ、スターティングエリアに入り道具を使わずにグリッド整備を可能とします。（2019国内競技規則261ページ20-3-8）
- 5) 競技中のサインエリア及びピットエリアでの傘の使用は禁止します。スターティンググリッド前方の修復は認められません、違反した場合罰則が科せられます。
- 6) 当該クラスに出場しているライダーに登録されたピットクルーは、進行員の合図によりスターティンググリッドに入ることが許可され、**自分で選んだスターティングエリア内を道具を使用しないで地ならしすることができます。但し、スターティングエリア内に自分のスタートエリア外からの土等を搬入することは禁止します。**
PITクルーの違反行為は、登録されているライダーに罰則が科せられます。（2019国内競技規則261ページ20-3-8-2）
- 7) スターティングエリア（スターティンググリッド）に入れるのは、いずれも大会主催者に認められている…“競技役員・プレス・出場するライダー（有効なMFJライセンス所持者）、出場するライダーに登録が認められているピットクルー（1ライダーにつき1名のみ）”とします。
- 8) 公式練習・予選・決勝いずれも、大会当日の天候等により、レース時間の短縮、コース・周回数の変更を行う場合があります。
- 9) 主催者の判断により適宜、散水及びコース整備を行います。

- 10) 万一、赤旗が提示された場合、再スタートするまでの時間帯も「競技中」と解釈されますので、自身の判断でパドックに戻る行為や指定エリア外での第三者による援助行為は罰則対象となる可能性がありますので、特にご注意下さい。

11) **スタート1周目は、ラムソンジャンプを使用せずに右側のう回路からラムソンジャンプ2つ目着地地点より本コースへ進入するルートにて行う。**

17. スポーツ安全保険制度 ※詳細は2019MFJ国内競技規則417ページを必ずお読みください。

※【MFJメディカルパスポート】に必要事項をご記入の上、ライダーご本人またはチームでの保管・管理をお願い致します。

ダウンロードURL <http://www.mfj.or.jp/user/contents/shinseisyo/shinseisyo-alljapan.html>

- 1) 怪我、体調悪化した場合の対応について
大会開催期間中に負傷または体調が悪化した場合は、まずは本大会救護室で診察を受け、負傷者名簿の記録を受けることを義務付けとします。救護室での記録が無い場合、スポーツ安全保険の給付請求を受けられない場合があります。軽傷であっても必ず救護室に届けて下さい。
- 2) 救急車の要請について
 - ① 近隣住民や病院に迷惑をかけてしまう場合もありますので、競技開催時間内に、大会主催者（救護）を介さず、参加者や観客個人の判断で直接救急車を絶対に要請しないで下さい。競技時間内は、救護室に医師が常駐しておりますので、体調・具合の悪い方は、まず救護室で診察を受けて下さい。
 - ② 健康保険証（コピー可）を持参されることを強く推奨します。
 - ③ 負傷状況により、主催者（救護）の判断で外部病院へ搬送（または指示）される場合があります。その場合は必ず付添者が同行して下さい。病院での治療費は各自の責任においてお支払下さい。（今後の大会運営に支障をきたす為、治療費の未払いは絶対にしないこと！）
 - ④ 救急車による搬送先は、病院の受け入れ状況により異なる場合がありますので、搬送時、係員にご確認下さい。大会主催者より、外部救急を呼んだ場合、救急隊が病院を決定いたします。

18. 脳震盪と診断された選手の参加対応について

MFJセーフティ委員会・メディカル部会の決定に基づき、転倒事故等で脳震盪と診断された選手は、次に出場する大会の主催事務局に脳神経外科で受診し、症状に異常が無いことを証明する診断書を提出しなければ、出場することができません。

また、公式練習・予選レース・決勝における転倒事故等で脳震盪の疑いのある選手は、当該競技会のレーシングドクターの診断を受け症状に異常が無いことが確認された上で大会審査委員会の許可を得なければ、当日の競技会の出場を拒否される場合があります。【国内競技規則書41頁 第3章 競技会 14-5参照】

19. 緊急病院連絡先

公立世羅中央病院（世羅郡世羅町本郷918-3）

TEL：0847-22-1127



公立みつぎ総合病院（広島県尾道市御調町市124）

TEL：0848-76-1111



※救急搬送先は病院の受け入れ状況により上記と異なる場合がありますので、搬送時、係員にご確認下さい。※病院での治療費は各自の責任にてお支払い下さい。

20. 重大事故発生時、関係当局へ協力をお願い

万一、競技中等、重大事故・事件が発生した場合、関係当局からの指導に基づき主催者から協力を依頼する場合がございますので、ご協力をお願いします。

21. パドック他施設の使用について

指定した選手パドック内をご活用ください。指定外を利用された場合は、撤去、移動して頂きます。

通路は移動の妨げとなるため、設営を禁止します。撤去、移動して頂きます。

“一般観客駐車場でのテント設営・火気の使用は禁止とします。”

“パドック・駐車場では譲り合いの精神で、スペースの有効活用にご協力下さい”

- 1) パドックオープンは、5月31日（金）PM2：00とします。【フリーパドックゲートオープン】

指定されているチームの方、フリーパドックゲートまでは、それ以前でも入場は、可能ですがメインゲート通過時に500円が必要となります。

PM2：00以降は、メインゲートはオープンいたしますので、料金は発生いたしません。なお、指定されていないチームの方でPM2：00までこちらのメインゲートにて待機を行われる方は、ゲートバーの前にてお待ちにならずにゲート手前にて時間までお待ちください。

- 2) 参加者は同封にて送られた車両通行証には事前に必ず車両番号（ナンバープレート）を油性マジックで記入し、車両の外から確認し易い場所に明示の上、同封のパスを提示して入場下さい。 **【リストバンドは手首に巻いた状態のみ有効です。手持ちのリストバンド（手首に巻いていないもの）は無効です。切れた場合は切れたリストバンドを捨てずに大会本部へ持参し、新しいリストバンドと引き換えてください。手首に巻いたリストバンド以外は有効な入場パスと認めません。】**
- 3) 別紙パドック表にて確認を頂き、記載されたスペースへ白線内に係員の指示に従い駐車して下さい。
- 4) 本会場はパドックとコースが隣接しておる為、事故防止の為、スクーターなど原動機付きの車両ならび自転車での移動も禁止致します。
- 5) 競技用車両の移動乗車時は必ずヘルメットを着用して下さい。着用せずに乗車した場合、誰が乗車していたかに関らず当該車両で出場している選手に対してペナルティーを科すものとします。
- 6) 施設内に一部公道が存在します、公道を通る際ならびに係員の指示があった場合は必ず、競技車両から降り、押して移動下さい。
- 7) その他、パドックの割り当てについて係員より指示があった場合は、これに従って下さい。

パドック内での宿泊において、周囲に迷惑をかける行為（飲酒や深夜までの騒ぎ声など）は絶対にお止め下さい！

（迷惑行為を行った上、主催者の指導に従わない場合は、会場から撤退して頂く場合もございます。）

最近、パドック内で盗難事故発生の報告を受けており、貴重品は、各自の責任において厳重に管理して頂くようお願いします。

22. 大会当日 大会本部 臨時電話 080-2892-6064

大会事務局OPEN時間 6月 1日（土）、2（日）両日ともに、 6時30分 OPEN ～ 17時00分 CLOSED です。

23. 規則の解釈について

本書に規定されていない事項については、2019年度版MFJ国内競技規則の第1章、第2章、第3章、第4章および付則15、付則16、付則17、付則18、付則18-1、付則18-2に則り開催致します。また規則の解釈について紛争が起こった場合、最終判断は大会審査委員会が決定します。この決定に対する抗議は一切出来ません。

24. **必ずお読み下さい** 2019モトクロス規則の変更点について

1) 車両変更

- エントリー締切日から公式車検開始前までに申請した車両を変更する場合、手数料5,000円が発生します。（245ページ18-2）
- 車両ならびにマーキング部品の変更は、同一部門・同一車両メーカー・同一排気量同士に限り、認められます。（245 ページ 18-5）

2) レース終了

- 万一、レース終了の合図（チェッカー等）が遅れて提示されてしまった場合でも、本来終了する時点で終了したと判断し、その順位を有効とします。
（249 ページ 26-3）
- チェッカーを受けた後、主催者の示す“セーフティライン”を越えるまで極端な減速はしないで下さい。（追突防止のため）
（249 ページ 26-5）

※追突防止策として、本大会のフィニッシュライン通過後のセーフティラインを設定致しますので、セーフティラインを過ぎるまでは、極端な減速・停止は行わないで下さい。

3) 集合時刻

- 予選・決勝レース開始予定時刻 10 分前（または参加者が揃った時点）から、ウェイティングエリアより、進行員の指示で第 1 ライダーがエンジン停止状態で押しながらスターティングエリアへ移動します。（260 ページ 20-2-3、261 ページ 20-3-4）
※補足 …… これまでは、「レース開始時刻の 10 分前」に集合し、参加者全員が揃わない場合は、「レース開始時刻」になるまで待ってから、スターティンググリッドへの移動を開始していましたが、今年から「レース開始時刻の 10 分前」になった時点で移動を開始します。

4) 傘持ちのスターティングエリア入場禁止

- 傘持ちのスターティングエリアへの入場は禁止となります。（262 ページ 20-4-2）
※補足 …… これまでは、競技監督が認めた場合、スターティンググリッド内に「傘持ち」を 1 名入場することを認めていましたが、今年からクラスや気温や天候に関わらず入場できなくなります。エントラントでスターティンググリッドに入場できるのは、

開催されるクラスに出場を認められたライダーとそのライダーに登録が認められたピットクルー1 名のみです。雨天時や直射日光を避ける為にスターティンググリッド内でレース開始までに傘を使用したい場合は、ライダー本人かまたは入場を認められたピットクルーがさして下さい。キャンペーンガールや上記以外のスタッフが規制エリアにおいて傘をさしていいのは、ウェイティングエリアまでです。

5) 国際 A 級ゼッケンカラー

- IA1 は白地に黒文字に変更されました。IA2 は従来通り黒地に白文字です。 (272 ページ 3-15-9-2)
- IA1 と IA2 のポイントリーダーのみ、赤地に白文字を装着しなければなりません。 (272 ページ 3-15-10)

6) 2019MFJ 国内競技規則書 誤記訂正について

- 「2019年全日本モトクロス選手権大会特別規則」255ページ

10-5 予選が行なわれない場合の決勝スターティンググリッドの選択優先順は、~~10-2-1~~ → 10-4-1 または ~~10-2-2~~ → 10-4-2 に準ずる。

【その他嚴重注意事項！】

☆一般観客駐車場でテント設営・火気の使用を禁止いたします。

☆ジムカーナ場を使用した一般有料パドックは、有料申込者以外の使用を禁止いたします。

★ゴミは必ず持ち帰して下さい！（会場内に置いて行かない事）

- ① 天候その他の理由により、タイムスケジュールは変更される場合がありますので、放送等にご注意下さい。
- ② 車中泊される方は、エアコン等の利用でエンジン・発電機をかけたままにすることは、排気漏れや他者に排気ガスを撒く可能性もあり大変危険です。一酸化炭素中毒は死に至る場合もありますので、ご注意ください。
- ③ 全ての参加選手、ピットクルーはMFJ国内規則書、並びに公式通知を熟読し十分理解していなければなりません。
- ④ ガソリンは金属製の携行缶で携行して下さい。
- ⑤ 防火対策として、出場選手は、パドックならびにトランスポーターへ「ABC粉末タイプ 4型(内容量1.2kg)以上」の消火器を各自準備して頂くよう協力下さい。
- ⑥ ガソリン等の引火し易い物も多く使われておりますので、特にパドック内での喫煙は各自で十分に注意を払って下さい。
- ⑦ タバコの吸い殻を会場内に捨てると、火災の原因にもつながるため、会場内では喫煙エリアでの喫煙をお願いします。コースサイドや観戦エリアなど、多くの人が通ったり、集ったりする場所での喫煙は、喫煙する人が注意を払っていても、他人の身体や衣服などにタバコの火が当たってしまったり、煙を吸わせたりすることがあります。また、会場内には未成年者も多く、タバコを持った手がお子様の顔のあたりに位置するため危険を及ぼすことが有ります。周りの人に迷惑や被害を与えるおそれのある歩きタバコ、啗えタバコは絶対におやめ下さい。
- ⑧ 会場内での競技車両移動時にはヘルメットを着用し徐行運転で場内の歩行者に充分配慮して下さい。（注意しても改善がなければ罰則の対象とします。ピットクルーの違反は、登録された選手への罰則として対応します。）
- ⑨ ライダーは、ライダー用リストバンド（オレンジ色）を腕に装着し、競技ライセンスを各自が用意したバスケースに入れ、走行中以外は常に左腰前部に装着して下さい。ピット作業を行うクルーはピットクルー用リストバンド（緑色）を腕に装着し、ピットクルーライセンスと共に、各自が用意したバスケースに入れて、左腰前部に装着して下さい。（ライセンスの無いVIPスは無効になります）
- ⑩ パスの不正使用が発覚した場合は、全て該当選手のペナルティーとして対応します。
- ⑪ ゼッケンは規定の文字、色で記入して下さい。規定外の文字で書かれたものや規定外の色の使用は受付できません（守れない場合は修正してもらう場合があります）。また、公式予選、決勝レースでは必ず自分のゼッケン番号が記載されたジャージ又はプロテクターを着用しなければなりません。
- ⑫ ペットは飼い主の全責任の下、必ずリードにつなぐ等管理して下さい。放し飼いや他のお客様の迷惑になる行為は行わないで下さい。ペットによる事故やトラブル等の発生はすべて飼い主と当事者の間で解決するものとし、主催者・施設は一切責任を負いません。
- ⑬ 周辺道路に違法駐車を絶対にしないで下さい。駐車場内・パドック内における事故やトラブルは、施設・主催者は一切責任を負いません。

2019年5月

全日本モトクロス選手権 第3戦 中国大会
大 会 事 務 局 長